

鏡石町立第一小学校の歴史

仮設校舎



東日本大震災により使用が出来なくなった旧校舎に代わり平成23年8月から平成26年2月まで約2年半お世話になりました。仮設校舎への引っ越しは、全保護者の力を借りて、机や椅子、学用品などを運んでもらいました。

旧校舎



昭和44年の校舎完成以来、東日本大震災により使用できなくなるまでの42年間使用されてきました。なお、旧校舎が使用できなくなり、仮設校舎が完成するまでは、鏡石二小と構造改善センターで授業が行われました。

創立当初の校舎



明治7年の小学校創立から、昭和28年度、昭和34年度の増改築を経て、昭和43年度の老朽校舎の改築まで使用されました。昭和35年度には児童数1237人が学校生活を過ごすなど現在の2倍近くの生徒が通いました。

新校舎完成で一言



面川祐希奈さん
(6年2組)

仮設校舎や旧校舎は寒かったのですが、新校舎はとても暖かくて快適です。窓がいっぱいあって陽当たりが良く

て明るい校舎になりました。廊下が広いところも気に入っています。

卒業まであと少しですが、作ってくれた人たちに感謝して大事に使いたいです。そして、卒業してからも遊びに来たいと思います。



遊佐 知樹君
(6年2組)

新校舎は、木がたくさん使われていて優しい感じで、暖房も整備されていてとても暖かいです。エレベーターもあ

って、足の不自由な人も使えて便利な学校だと思います。学校が広いのは嬉しいけど掃除が大変です。

卒業前にこの校舎に入ることができて良かったです。在校生には、この校舎を大切にに使ってほしいと思います。

石山 晃司
校長先生



素晴らしい校舎でありがたいです。教室は防音がしっかりしており、多目的スペースやデッキスペースなど開放感があって落ち着きますね。

子ども達には震災から新校舎に引っ越すまで、たくさんのお世話になったことを忘れずに勉強や色々な活動を頑張ってもらいたいです。そして今回の経験を活かして困っている人に手を差し伸べることができるようになってください。

高野 弘幸
PTA会長



震災から約3年。資材や人材が不足する中、予定通り新校舎が完成し、子どもたちの喜んでいる姿を見ることができてうれしいです。新校舎は部屋数や収納が多く、明るい感じでいいですね。

みんなで引っ越し作業をしたことは貴重な経験です。仮設校舎の生活など苦労もあったと思いますが、みんなで活動することを大切にこれからも親子で一緒に頑張りましょう。

東日本大震災を教訓に町の重要防災拠点となる災害に強い新校舎が完成。

～鏡石町立第一小学校～

建設から40年余りが経過し、老朽化が進み、耐震強度も不足していた旧校舎は、東日本大震災で全壊という大きな被害を受けて改築することとなりました。

災害に強い学校として、改築にあたっては「災害に強い学校」をコンセプトに鉄筋コンクリート2階建て、避難所機能の強化として耐震性能が1.25倍、太陽光システムにより災害初期対応可能な施設としました。

ここでは、震災復興のシンボルである鏡石一小新校舎について紹介します。

鏡石町立第一小学校

- ・児童数 604人(H26.2.28現在)
- ・敷地面積 25,121.16㎡
- ・建築面積

1階	3,349.53㎡
2階	2,896.91㎡
合計	6,246.44㎡
- ・住所 鏡石町中央1番地 (☎62-2006)

